

電気電子製品の貿易促進 -安全性評価基準の策定と検査能力の向上支援

Trade Promotion for Electrical and Electronic Equipment - Support for Development of Standard and Regulation

for Safety Requirement and Improvement of Testing Capacity

継続

対象国の条件：

研修コース番号 :J1804092

案件番号 :1884849

主分野課題：民間セクター開発/産業基盤制度

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

電気電子製品等の貿易を促進するためには、自国での①安全性の高い製品を認証するための安全性評価基準の策定、②同基準の制度化、③同基準に基づく試験の実施、④同試験結果の他国での受入が必要である。一方、これらを所掌する機関は別々という状況であり、各機関の能力や体制を踏まえ連携して制度設計を行う必要がある。ついては、各機関が相互に連携した基準認証制度の構築を支援し、各国における貿易の円滑化に資することを目的とする。

目標／成果	対象組織／人材
【案件目標】 自国の電気電子製品等の貿易の促進を図るため、安全性評価基準に関わる各機関の職員が、基準認証制度全体について把握することで、各機関所掌の業務について理解を深め、各機関が相互に連携可能な基準認証制度の構築に向けた検討を行う。 【成果】 1. 安全評価基準認証制度の重要性を理解し、自国の課題を分析できる。 2. 貿易を促進させる安全評価基準及び認証制度の確立に向け、経済産業省や企業における取組を事例研究や視察を通じて理解し、更に参加各国や自国の状況との比較検討を行うことで、自国に適した制度構築の方策を提案できる。 3. 安全評価基準の国際標準化活動について、日本の取組を参考に自国に適した方策が検討・提案できる。	【対象組織】 電気電子製品の安全評価基準に関する以下の機関 1. 規格策定当局 2. 規制当局 3. 認証機関 4. 検査実施機関 【対象人材】 経験年数：同分野での5年以上の実務経験

内 容	2018/11/18～2018/12/1
<事前活動> 自国の安全評価基準認証制度に関する概況をまとめたカントリーレポートの作成。 <来日中> 1. カントリーレポートについてプレゼンを行い、日本をはじめとする参加各国の現状への理解を深める。 2. 講義、視察を通じ、以下の内容に関する理解を深める。 ・貿易円滑化の観点からの基準認証制度の重要性 ・国際標準化活動における経済産業省や企業の取組 ・安全評価基準の策定における経済産業省や企業の取組 ・安全評価基準の規制に関する経済産業省や企業の取組 ・検査実施機関と認証機関との関係 ・安全評価基準に基づく検査実施機関での試験 3. ラップアップセッションでプレゼンを行い、自国に適した制度構築の提案を行う。	本邦研修期間
	担当課題部
	所管国内機関
	関係省庁
	実施年度

主要協力機関

日本規格協会

特記事項
及び
ホームページ